2024 経済・経営 人文・法学部

日本史問題

解答はすべてマーク式で解答用紙に記入して下さい。
解答用紙のみ提出して下さい。

2024年2月9日(金)実施

マーク式解答用紙記入上の注意

〔1〕 解答用紙はすべて**HBの黒鉛筆**で記入して下さい。(万年筆・ボールペン・シャープペンシルなどは使用できません。)

〔2〕 解答用紙は折りまげたり，破ったり，汚したりしないで丁寧に取り扱って下さい。

〔3〕 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し，その他の部分には何も書いてはいけません。

〔4〕 氏名を記入して下さい。

〔5〕 受験番号を記入し，さらにその下のマーク欄にマークして下さい。

〔例〕 受験番号が0010123のときは

氏名
鈴木一郎

受験番号						
0	0	1	0	1	2	3
⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	⓪	⓪
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

(注) ⓪ と ① のマーク間違いに注意して下さい。

〔6〕 解答科目欄から**解答する科目**を1つ選び，科目の右の◯に**マーク**して下さい。**マークされていない場合，または複数の科目にマークされている場合は，0点**となります。

〔7〕 解答番号は 1 から 40 まであります。

マークの記入方法は，例えば， 10 と表示のある問に対して③と解答する場合は，次の〔例〕のように**解答番号10の解答欄**に ❸ とマークして下さい。

〔例〕

解答番号	解答欄
10	① ② ❸ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

〔8〕 一度記入したマークを訂正する場合，消しゴムで**完全に消してから**記入しなおして下さい。

〔9〕 解答がおわったら，解答用紙に付着している消しゴムの**消しくずを**きれいに**取り除いて**下さい。

1　次のA，Bの文章を読み，設問に答えよ。(**解答番号** 1 ～ 12)

A　9世紀末から10世紀(a)にかけて地方政治が大きく変化していく中で，土着した国司の子孫や地方豪族は，勢力を維持・拡大するために武装するようになり，各地で紛争が発生した。その鎮圧のために政府から派遣された中・下級貴族の中には，そのまま在庁官人などになって現地に残り，有力な武士となるものが現われた。

桓武平氏のうち，(　ア　)は下総に本拠をもつ有力な武士であったが，一族間の争いに端を発して乱をおこし，939年には，常陸・下野・上野の国府を攻め落とし，東国の大半を占領した。(　ア　)は新皇と称して朝廷から独立を宣言したが，(　イ　)・藤原秀郷らによって討たれた。同じ頃，藤原純友も，瀬戸内海の海賊を率いて反乱をおこし，瀬戸内海沿岸諸国の国府や九州の大宰府を攻撃したが，(　ウ　)らによって討たれた。これらの乱を通じて朝廷の軍事力の低下が明らかになり，地方武士の組織はいっそう強化された。(b)

11世紀になると，開発領主たちは地方の武士団として成長していった。1028年，上総で平忠常が乱をおこすと，源頼信は乱を鎮圧して，源氏の東国進出のきっかけをつくった。また，陸奥北部では豪族安倍氏の勢力が強大になり，国司と争っていたが，(　エ　)と子の源義家は東国の武士を率いて安倍氏を滅ぼした。その後，陸奥・出羽両国で大きな勢力を得た清原氏一族に内紛がおこると，源義家が介入し，藤原(清原)清衡(c)を助けて内紛を制圧した。これらの戦いを通じて源氏は東国の武士団との主従関係を強め，武家の棟梁としての地位を固めていった。

設　問

1)　文章中の空所(　ア　)，(　イ　)に入れる人名として正しいものを，次の中から1つずつ選べ。

空所(　ア　) 1　　**空所(　イ　)** 2

① 平貞盛　② 平重盛　③ 平忠正　④ 平時忠
⑤ 平将門　⑥ 平宗盛　⑦ 平良将　⑧ 平頼綱

2)　文章中の空所(　ウ　)，(　エ　)に入れる人名として正しいものを，次の中から1つずつ選べ。

空所(　ウ　) 3　　**空所(　エ　)** 4

① 源為朝　② 源親行　③ 源経基　④ 源頼光
⑤ 源頼政　⑥ 源義親　⑦ 源義平　⑧ 源頼義

3)　下線部分(a)について，10 世紀のできごとについて述べた文として**不適当なもの**を，次の中から 2 つ選べ。解答の順番は問わない。 5 6

① 安和の変で源高明が左遷された。
② インド・中国・日本の仏教説話を集大成した『今昔物語集』が書かれた。
③ 延久の荘園整理令が出された。
④ 紀貫之が『土佐日記』を著した。
⑤ 空也が京の市で念仏の功徳を庶民層へ布教した。
⑥ 源信（恵心僧都）が『往生要集』を著した。
⑦ 最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編集された。
⑧ 藤原元命が「尾張国郡司百姓等解」によって暴政を訴えられた。

4)　下線部分(b)について，次の説明文（あ）（い）（う）は，10 世紀の武士について述べたものである。それぞれの説明文の正誤について，最も適当なものを以下の選択肢の中から 1 つ選べ。
7

説明文

（あ）　所領を分散させないために，惣領が所領のすべてを相続する嫡子単独相続がおこなわれるようになった。
（い）　滝口の武者（武士）のように宮中の警備を担当したり，貴族の身辺警護や都の警備に登用されたりするようになった。
（う）　館侍や国侍として国司のもとに組織されるとともに，国ごとに常置されるようになった追捕使や押領使に任命され，地方の治安維持に当たるようになった。

選択肢

① （あ）が正しく，（い）（う）は誤り
② （い）が正しく，（あ）（う）は誤り
③ （う）が正しく，（あ）（い）は誤り
④ （あ）（い）が正しく，（う）は誤り
⑤ （い）（う）が正しく，（あ）は誤り
⑥ （あ）（う）が正しく，（い）は誤り

5)　下線部分(c)について，藤原清衡が平泉に建立した建物として最も適当なものを，次の中から1つ選べ。 8

①　三仏寺投入堂　　②　白水阿弥陀堂　　③　中尊寺金色堂
④　富貴寺大堂　　⑤　蓮華王院本堂

B　源義家のあと，源氏の勢力がやや衰える中，院と結んで発展したのが，桓武平氏のうちで伊勢・伊賀を地盤とする伊勢平氏である。なかでも（　ア　）は，瀬戸内海の海賊平定などで鳥羽上皇の信任を得て，武士としても院近臣としても重く用いられるようになった。

1156年，鳥羽法皇が死去するとまもなく，かねて皇位継承をめぐり鳥羽法皇と対立していた崇徳上皇は，左大臣藤原頼長と結んで武士を集めた。これに対して，鳥羽法皇の立場を引き継いでいた後白河天皇は，近臣の（　イ　）の進言により，（　ア　）の子の平清盛や源義朝らの武士を動員し，上皇方を攻撃して破った（保元の乱）。つづいて，院政を始めた後白河上皇の近臣間の対立から，1159年には藤原信頼が源義朝と結んで兵をあげ，（　イ　）を自殺に追い込んだが，平清盛によって藤原信頼や源義朝は滅ぼされた（平治の乱）。保元の乱と平治の乱に勝利したことで，武家の棟梁としての平清盛の地位と権力は急速に高まった。(a)

しかし，後白河法皇の近臣との対立の深まりとともに，1177年には法皇の近臣らが平氏打倒をはかり，失敗する事件がおこった（鹿ヶ谷の陰謀）。そこで平清盛は1179年，後白河法皇を幽閉し，多数の貴族を処罰し，官職を奪うという強圧的手段で政界の主導権を握った。こうした権力の独占はかえって院や貴族，寺社，源氏などの反対勢力の結集をうながし，各地の武士たちも次々に挙兵して，内乱は全国に広がった。(b)

設　問

1）文章中の空所（　ア　），（　イ　）に入れる人名として正しいものを，それぞれの選択肢の中から1つ選べ。

空所（　ア　）の選択肢 9

①　平国香　　②　平維衡　　③　平忠盛　　④　平良兼　　⑤　平頼盛

空所（　イ　）の選択肢 10

①　藤原家隆　　②　藤原伊周　　③　藤原道綱
④　藤原通憲（信西）　　⑤　藤原頼通

2）下線部分(a)について，平清盛について述べた文として**不適当なもの**を，次の中から1つ選べ。 11

①　自分の娘を天皇の中宮に入れ，その子を天皇に即位させた。
②　摂津の大輪田泊を修築して，日宋貿易をさかんにした。
③　長講堂に多数の荘園を寄進した。
④　武家としてはじめて太政大臣になった。

3)　下線部分(b)について，次のⅠ～Ⅲのできごとを，古いものから順に並べたものとして正しいものを，以下の選択肢の中から１つ選べ。 12

できごと

Ⅰ　平清盛が福原京に遷都した。

Ⅱ　源範頼・義経が源義仲を宇治川の戦いで破った。

Ⅲ　源頼朝が後白河法皇と交渉して東国支配権の承認を得た。

選択肢

① Ⅰ → Ⅱ → Ⅲ　② Ⅰ → Ⅲ → Ⅱ　③ Ⅱ → Ⅰ → Ⅲ

④ Ⅱ → Ⅲ → Ⅰ　⑤ Ⅲ → Ⅰ → Ⅱ　⑥ Ⅲ → Ⅱ → Ⅰ

※試験問題は次のページに続きます。

2 次のA，Bの文章を読み，設問に答えよ。(**解答番号** 13 ～ 21)

A　鎌倉時代(a)には，農業の発展にともない，手工業の分野でも新しい動きが現われた。従来は荘園領主に属していた手工業者の中から，農村向けの日用品を生産・販売する者も現われ，また各地域で名主や百姓など一般農民の中に，手工業者が増えはじめた。

これら物資の交換・売買のために各地で定期市が開かれた。また，京都・奈良などの商工業者たちは，すでに平安時代の後期頃から，大寺社や天皇家に属して販売や製造についての特権を認められていたが，やがて同業者の団体である(　ア　)を結成するようになった。人と物の動きが活発になると，交通路も整理された。瀬戸内海をはじめ各地で梶取が年貢を運び，また湾内には(　イ　)がいて年貢の輸送・保管にあたっていたが，やがて販売も引き受けて商人的性格を強めていった。遠隔地間の取引には，金銭の輸送を手形で代用する(　ウ　)が使用された。

鎌倉時代のはじめには，年貢の収納，田地の管理など荘園内の権限をきびしく制限されることの多かった地頭も，承久の乱をすぎると，次々に非法を繰り返すようになった。彼らは，逃亡した百姓の土地を勝手に地頭名にくりいれたり，ささいな罪を理由に百姓を責め立てて罰金や身代を要求し，払えなければ下人・所従身分に落としたりした。さらに，それまで地頭がおかれていなかった土地にも東国武士が地頭として入ってくるようになると，荘園領主や現地の人びとと地頭との紛争がしだいに激しくなった。(b)

設　問

1)　文章中の空所(　ア　)～(　ウ　)に入れる語句として最も適当なものを，それぞれの選択肢の中から１つ選べ。

空所(　ア　)の選択肢 13

①　寄合　　②　一門　　③　株仲間　　④　惣座　　⑤　座

空所(　イ　)の選択肢 14

①　問丸　　②　掛屋　　③　足軽　　④　馬借　　⑤　車借

空所(　ウ　)の選択肢 15

①　三貨　　②　丁銀　　③　運上　　④　冥加　　⑤　為替

2)　下線部分(a)について，鎌倉時代の商業について述べた文として**不適当なもの**を，次の中から1つ選べ。 16

①　和同開珎が発行され，市で流通した。

②　月に3回開かれる三斎市が現われて，地方経済の商品取引を保証していた。

③　福岡(ふくおか)の市(いち)は，備前国福岡荘の吉井川と山陽道との結節点で開かれた。

④　地方の市では，地元の特産品や米などが売買され，中央から織物や工芸品などを運んでくる行商人も現われた。

3)　下線部分(b)について，この紛争を解決するために荘園領主や現地の人びとがおこなったことについて述べた文として**不適当なもの**を，次の中から1つ選べ。 17

①　地頭に一定の年貢納入だけを請け負わせる地頭請所の契約を結んだ。

②　荘園経営に練達した預所・雑掌を現地に派遣した。

③　徳政令を要求する徳政一揆を起こした。

④　現地の土地の相当部分を地頭にわけ与え，相互の支配権を認め合う下地中分の取決めをおこなった。

B　鎌倉時代に広がった新仏教に共通する特色は，ただ選びとられた一つの道(念仏・題目・禅)によってのみ救いにあずかることができると説き，広く武士や庶民にもその門戸を開いたところにあって，教団の形をとって後世に継承されていった。

古くからの法華信仰をもとに，新しい救いの道を開いたのが日蓮である。鎌倉を中心に，他宗を激しく攻撃しながら国難の到来を予言するなどして布教を進めたため，幕府の迫害を受けたが，日蓮宗(法華宗)(a)は関東の武士層や商工業者を中心に広まっていった。

関東を中心に武士のあいだに大きな勢力をもつようになったのは，禅宗である。坐禅によってみずからを鍛錬し，釈迦の境地に近づくことを主張する禅宗は，12世紀末頃，宋に渡った栄西によって日本に伝えられた。栄西は密教の祈禱にもすぐれ，公家や幕府有力者の帰依を受けて(b)，のちに(　ア　)の開祖として仰がれた。栄西の弟子に学んだ道元は，南宋に渡ってさらに禅を学び，坐禅そのものを重視する教えを説いた(c)。

設　問

1)　文章中の空所(　ア　)に入れる語句として正しいものを，次の選択肢の中から1つ選べ。 18

空所(　ア　)の選択肢

①　浄土真宗　　②　時宗　　③　臨済宗　　④　曹洞宗　　⑤　律宗

2)　下線部分(a)について，鎌倉時代の日蓮宗(法華宗)について述べた文として最も適当なものを，次の中から1つ選べ。 19

①　この宗派では，戒律を重視して旧仏教を改革し，社会事業にも力を尽くした。

②　この宗派では，神を主として仏を従とする神本仏迹説をとなえた。

③　この宗派は，山中を修行の場としたから，在来の山岳信仰とも結びついて修験道の源流となった。

④　この宗派の中心となった寺院に，久遠寺がある。

3)　下線部分(b)について，栄西の死後，南宋から来日し，北条時頼の帰依を受けて，鎌倉に建長寺を開いた僧として正しいものを，次の中から1つ選べ。 20

①　蘭溪道隆　　②　無学祖元　　③　貞慶(解脱)

④　明恵(高弁)　　⑤　叡尊(思円)

4)　下線部分(c)について，道元の説示が収録された著書として正しいものを，次の中から１つ選べ。 21

①　教行信証　　②　正法眼蔵　　③　立正安国論
④　興禅護国論　　⑤　顕戒論

3 次のA，Bの文章を読み，設問に答えよ。(**解答番号** 22 ～ 30)

A　1716年，将軍徳川家継が8歳で死去し徳川宗家(本家)の血統がたえると，三家の一つである紀伊藩の藩主徳川吉宗が宗家を継ぎ，8代将軍になった。吉宗は，徳川綱吉以来の側用人政治を廃止し，将軍親政の体制のもとで改革を進めた。この吉宗の改革を，享保の改革という。

幕府の当面する課題は，財政の再建にあった。吉宗は，支出面では，倹約令を発して出費の削減につとめ，足高の制によって人材登用と支出抑制の一石二鳥をはかった。一方で，収入の増加にも力を入れた。(a)

また，諸物価ひき下げのために，炭・薪・塩・酒などを扱う江戸の問屋に仲間をつくらせ，大坂の堂島米市場を公認して米価維持につとめた。農政では，朝鮮人参・甘蔗(砂糖きび)・櫨などの栽培を奨励して殖産興業につとめるとともに，(　ア　)を登用して甘藷(サツマイモ)を普及させ，飢饉に備えた。さらに，この時期は都市が発達し，江戸の人口は100万人をこえ，都市問題も幕政の重要課題となった。(b)

吉宗のあと10代将軍徳川家治の時代には，側用人から昇進した老中の田沼意次が幕府の実権をにぎった。このころ，享保の改革でいったん好転した幕府の財政はふたたび行きづまっていた。意次は，収入源をもっぱら土地からの年貢に求める従来のやり方を改め，年貢に加えて経済・流通政策による収入も重視した。さらに意次は，新田開発を積極的に試み，また(　イ　)らを蝦夷地に派遣して，その開発やロシア人との交易の可能性を調査させた。

財政悪化を是正する試みは，幕府だけでなく諸藩でも，年貢増徴や専売制の実施，また家臣の知行地・俸禄削減(借上)などによっておこなわれた。これら幕府・諸藩の財政政策に加えて享保・天明の飢饉がおこり，農民は苦しい生活を強いられることになった。このような状況のもと，百姓一揆が各地で頻発した。

設　問

1)　文章中の空所(　ア　)，(　イ　)に入れる人名として正しいものを，それぞれの選択肢の中から1つ選べ。

空所(　ア　)の選択肢 22

① 小田野直武　② 大蔵永常　③ 尾藤二洲
④ 谷時中　⑤ 青木昆陽

空所(　イ　)の選択肢 23

① 間宮林蔵　② 最上徳内　③ 高田屋嘉兵衛
④ 近藤重蔵　⑤ 宇田川榕庵

2)　下線部分(a)について，享保の改革における収入増加の施策について述べた文として**不適当なもの**を，次の中から１つ選べ。 24

①　年ごとに収穫高に応じて年貢率を定める検見法を改め，一定期間は年貢率を固定しておく定免法を採用し，年貢率も引き上げた。

②　新田開発を奨励し，商人資本による町人請負新田もおこない，耕地を増加させた。

③　諸大名の江戸滞在期間を半減するかわりに石高１万石について米100石をおさめさせる，上米の制を定めた。

④　幕府権力の強化や海防，年貢増収をねらって江戸・大坂周辺を幕府直轄地とする上知令を発した。

3)　下線部分(b)について，享保の改革における江戸の都市政策について述べた文として**不適当なもの**を，次の中から１つ選べ。 25

①　町入用(町費)の節約分の７割を積み立てる七分積金の制度をつくり，災害や飢餓に備えさせた。

②　庶民の意見を聞くため，評定所に目安箱を設置した。

③　大火に備えるために，定火消だけでなく，町火消も組織させ，防火のために空き地(火除地)を各所に設けた。

④　貧しい病人に医療をほどこす小石川養生所をつくった。

B　18 世紀半ば，商品経済の発展により，富を蓄えた裕福な百姓や都市の町人たち，都市生活者となった武家の中から，学問や思想，芸術など，幅広い分野で文化の担い手が数多く現れた。また寺子屋などが各地につくられ，民衆の中にも識字層が大幅に増加し，読書をする人びとが全国に広がり，それに応じて，書籍や印刷物が多様に制作・出版され，物や人びとの移動とともに，さまざまな情報が流通し始めた。

日本古来の思想を求めて古典を研究する国学は，18 世紀後半に（　ア　）が大成した。（　ア　）は，『源氏物語』や『古事記』の研究から，日本人の心の本質は「もののあはれ」であるとした。

鎖国のもとにおかれたことから，西洋の学術・知識の吸収や研究は困難であったが，徳川吉宗が漢訳洋書の輸入制限をゆるめたことによって，洋学が本格的に発達するようになった。日本では西洋の学術・知識はオランダ語によって学ばれたので，洋学はまず蘭学として出発した。(a)

江戸時代中期の文学は，身近な政治や社会のできごとを題材とするようになった。小説では，それまでの浮世草子がおとろえたあと，挿絵で読者を引きつける草双紙や，江戸の遊里を描く洒落本が流行した。また，黄表紙と呼ばれる風刺のきいた絵入りの小説もさかんに売り出された。(b)

俳諧では，柄井川柳が，俳句の形式を借りて世相や風俗を風刺する川柳を文学の一つの分野として定着させた。また，短歌の形式を借りて世相や政治を風刺する狂歌がさかんにつくられた。

民衆に愛好された浮世絵は，18 世紀半ばに，（　イ　）が多色刷りの錦絵を創始してからめざましく発展し，地方への江戸土産ともなって全国的に親しまれた。一方，伝統的な絵画にも新しい機運が生じ，また，洋学の発展とともに，西洋画の技法も紹介された。(c)

設　問

1）　文章中の空所（　ア　），（　イ　）に入れる人名として正しいものを，それぞれの選択肢の中から 1 つ選べ。

空所（　ア　）の選択肢 26

①　塙保己一　　②　三浦梅園　　③　本居宣長　　④　太宰春台　　⑤　契沖

空所（　イ　）の選択肢 27

①　尾形乾山　　②　喜多川歌麿　　③　土佐光起　　④　鳥居清長　　⑤　鈴木春信

2)　下線部分(a)について，18 世紀後半から 19 世紀前半にかけての洋学・蘭学について述べた文として**不適当なもの**を，次の中から 1 つ選べ。 28

①　蘭方医の前野良沢・杉田玄白らは，オランダ語の解剖書から『解体新書』を翻訳して，西洋の解剖学をはじめて紹介した。

②　天文・地理学者の西川如見は，『華夷通商考』を著して，海外事情を紹介した。

③　幕府天文方の高橋至時は，西洋暦法にもとづく寛政暦を作成した。

④　大槻玄沢は，『蘭学階梯』という蘭学の入門書を著し，江戸に芝蘭堂を開いて多くの門人を育てた。

3)　下線部分(b)について，洒落本や黄表紙は松平定信による寛政の改革できびしく取り締まられたが，この寛政の改革で弾圧された洒落本作者の人名として正しいものを，次の中から 1 つ選べ。 29

①　為永春水　　②　山東京伝　　③　西山宗因　　④　長谷川平蔵　　⑤　井原西鶴

4)　下線部分(c)について，18 世紀から 19 世紀前半にかけての伝統的な絵画と西洋画にかかわることがらについて述べた文として**不適当なもの**を，次の中から 1 つ選べ。 30

①　円山応挙は，中国の写生風の花鳥画に影響を受け，写生画を確立した。

②　明・清の南画から影響を受けた文人画が，池大雅・蕪村らによって大成された。

③　司馬江漢は，日本ではじめて銅版画を制作した。

④　俵屋宗達は，大和絵の装飾性を強調する大胆な構図で新様式を開いた。

4 次のA，Bの文章を読み，設問に答えよ。(**解答番号** 31 ～ 40)

A 明治前期，政府は欧米諸国から学者を招聘するとともに，欧米に留学生を派遣して，近代的学問の導入をはかった。やがて日本人自身の手で各分野の専門研究が始まり，各種の学会や学術雑誌が生まれた。(a)

人文・社会科学では，最初は英米系の自由主義的な学問が導入されたが，明治十四年の政変の結果，ドイツモデルの憲法を制定する方針が決定されると，ドイツ系の学問が中心となっていった。哲学ではドイツ観念論を中心にドイツ哲学が優勢となり，法学では民法典論争をきっかけにドイツ法が導入された。歴史学では，明治前期に英米系の自由主義的な文明史論が著され，中期にはドイツ系の実証史学が広がった。(b)(c)(d)

自然科学では，富国強兵と近代化に役立つ科学や技術の導入が先行した。とりわけ天然痘やコレラなどの伝染病の流行に対処するため種痘の実施や衛生が重視され，コッホらによって細菌学が成立すると，北里柴三郎，志賀潔，秦佐八郎らがヨーロッパに留学して創造的な研究を生みだし，(ア)が脚気(かっけ)の研究からオリザニンの抽出に成功してビタミンB_1を発見するなど，国際的にも寄与するようになった。

設 問

1) 文章中の空所(ア)に入れる人名として正しいものを，次の中から1つ選べ。 31

① 鈴木梅太郎　② 高峰譲吉　③ 田中館愛橘
④ 野口英世　⑤ 牧野富太郎

2) 下線部分(a)について，工部大学校の教師として明治初期に来日し，辰野金吾や片山東熊らを育てたイギリス人建築家として正しいものを，次の中から1つ選べ。 32

① クラーク　② コンドル　③ ジェーンズ
④ パークス　⑤ フェノロサ

3) 下線部分(b)について，1878年に政府顧問として来日し，明治憲法の制定に尽力したドイツの法学者として正しいものを，次の中から1つ選べ。 33

① フルベッキ　② ベルツ　③ ボアソナード
④ モース　⑤ ロエスレル

4)　下線部分(c)について，この論争において，「民法出デヽ忠孝亡ブ」という題の論文を書いて，1890年に公布された民法を批判した人物として正しいものを，次の中から1つ選べ。 34

①　植木枝盛　　②　片岡健吉　　③　黒田清隆　　④　児島惟謙　　⑤　穂積八束

5)　下線部分(d)について，こうした明治前期の自由主義的な文明史論について述べた文として最も適当なものを，次の中から1つ選べ。 35

①　野呂栄太郎を中心に『日本資本主義発達史講座』が編集され，その執筆にたずさわった講座派と，雑誌『労農』に論文を執筆した労農派とのあいだで論争が展開された。
②　田口卯吉が『日本開化小史』を著し，歴史観が革新された。
③　北一輝が『日本改造法案大綱』において国家改造の方針について論じた。
④　横山源之助が『日本之下層社会』を著し，労働者や農民がおかれた実状を問題にした。

B　1886年，文部大臣森有礼のもとでいわゆる学校令が公布され，ドイツの制度にもとづく教育制度がつくられた。1890年には教育勅語が発布され，忠君愛国を基本とする国民教育の方針が示された。

1891年，第一高等中学校講師の（　ア　）は，教育勅語に拝礼しなかったため，学生や教員らの批判を浴び，辞職に追いこまれた。また，神道を信仰ではなく習俗としてとらえて史学の立場から論じた（　イ　）の論文「神道は祭天の古俗」が，神道家や国学者から攻撃をうけ，（　イ　）は帝国大学教授を休職となった。1903年，教科書採択をめぐる汚職事件を契機に小学校の教科書は国定とされ，教育に対する国家の統制は強められた。

専門教育では，1877年に旧江戸幕府の機関をもとに東京大学が設立され，官吏の養成がめざされた。また，福沢諭吉(a)の慶応義塾や（　ウ　）の同志社英学校，大隈重信の東京専門学校などの私学も創設され，特色ある学風を発揮した。女子教育では「良妻賢母」の育成がめざされたが，津田梅子は女性の自立をめざし，女子英学塾を設立した。津田梅子は，岩倉具視を大使として1871年から欧米に派遣された使節団(b)に，留学生として同行した人物である。

設　問

1）　文章中の空所（　ア　）～（　ウ　）に入れる人名として正しいものを，それぞれの選択肢の中から1つ選べ。

空所（　ア　）の選択肢 36

①　安部磯雄　②　内村鑑三　③　海老名弾正　④　北村透谷　⑤　木下尚江

空所（　イ　）の選択肢 37

①　久米邦武　②　鈴木文治　③　美濃部達吉　④　津田左右吉　⑤　柳田国男

空所（　ウ　）の選択肢 38

①　賀川豊彦　②　河上清　③　中江兆民　④　新島襄　⑤　新渡戸稲造

2）　下線部分(a)について，この人物について述べた文として**不適当なもの**を，次の中から1つ選べ。 39

①　緒方洪庵が大坂ではじめた適々斎塾（適塾）に学んだ。
②　西洋の啓蒙思想の普及をはかるため明六社の結成に参加した。
③　スマイルズの『セルフ‐ヘルプ』を翻訳し『西国立志編』を著した。
④　みずからの新聞『時事新報』に論説「脱亜論」を発表した。

3)　下線部分(b)について，この岩倉使節団の副使をつとめた人物として**不適当なもの**を，次の中から１つ選べ。 40

①　伊藤博文　　②　大久保利通　　③　木戸孝允　　④　西郷隆盛　　⑤　山口尚芳